榛名神社

祭事歴

	(月日)	(祭名)
一月一日	歳旦祭	
二月一日	月次祭	
二月十一日	建国祭	
三月一日	月次祭	
四月一日	月次祭	
四月八日	大祭	
四月十九日	天長祭	
五月一日	月次祭	
六月一日	月次祭	
六月三〇日	月次祭	
六月六祓		
七月一日	月次祭	
八月一日	月次祭	
八月四日五日	恒例大祭	
九月一日	月次祭	
九月一日	風祭	
旧七月二四日	諏訪祭	
一〇月一日	月次祭	
一〇月一五日	大国大祭	
一一月一日	月次祭	
一二月一日	月次祭	
一二月一五日	七五三	
旧一二月一日	神迎祭	
一二月三一日	師走大祓	

大祭

…四月八日、荘厳に執り行なわれる…

私達はいにしえより伝統を重んじて氏神様にお仕えするのが「お祭」です。お祭はいにしえよりの伝統を伴い、永い文化を香わせて氏子大衆を育成し、地域郷土を発育させます。

毎月四月八日に行われる大祭は榛名神社で一番大切なお祭です。今年はあいにくの天候で早朝からの雨の中でしたが、祭儀荘厳に古式にのっとり執行され、氏子の繁栄祈願と天下太平世界平和祈願が行なわれました。

宵宮（四月七日）の早朝、地元祭典世話人により参道鳥居わきに幟が立てられ、祭の準備が始まります。

祭儀は午前十一時より、神域にこだまする雨音の中雅楽の調べとともに開始され、宮司、権祢宜他祭員二名、献幣使として榛名神社庁長（名誉宮司）、随員一名、伶人（雅楽奏者）三名が奉仕。氏子会長を始め各総代、地元老人会長、婦人会長等多数の参列者が参列され、参集殿においては参列者全員での記念撮影があり、また境内神楽殿においては恒例の太々神楽奉納も賑やかに行なわれました。

お祭のある処はどこも華やかに美しく発展します。"お祭"はこれ以上切にされればなりません。これからも皆さんと一緒に神様へお仕えし、社頭の繁栄を祈り願います。

「太々神楽」

当神社の大祭（四月八日）、神武天皇殿にて神楽の奉納が行われます。

これは薄根太々神楽保存会（会長、牧野万吉氏）によるもので、投げ餅も行なわれ社頭をより一層賑やかにしています。

薄根太々神楽の歴史をたどると大正初期から大正末年頃まで、当時群馬県警察官巡査として沼田警察管内の薄根地区に駐在していた松木耕三郎氏が、氏の郷里である高崎崎崎に鎮座する雀郷神社で習得したものを薄根へ伝えたことに始まります。

松木氏の指導を受けたのは三峰山・河内神社、そして硯田・天満宮の氏子たちでしたが、硯田・天満宮にあっては特に熱心にそれを受け、片野善蔵氏、片野徳次郎氏両名をリーダーとし昭和の初めへ伝承されたのです。

終戦後、時とだええていたこの薄根太々神楽を復興させたのが保存会現会長の片野万吉さん、片野菊衛さんを中心とした保存会会員の皆さんです。

現在、薄根太々神楽は市の文化財にも指定されており、毎年四月八日の当社大祭にはぜひ皆さんの御観賞をおすすめいたします。

和子さま薨去

昭和五十八年六月二十日、我が国祭主職司和子さまには当神社へ御参拝遊ばされ、翌宮司の御内諾えにて「終」を手植え賜わりました。

お招きいただいた平成三年宮司の神社へ「庁副総長の時、祭主様をお招きいただいた「庁副総長の時、祭主様をお招きいただいた「庁副総長の時、祭主様をお招きいただいた